

民主党埼玉県第1区総支部  
衆議院議員



# たけまさ公一 国会レポート

平成19年 第68号

*Koichi Takemasa*



## △目次▽

民主2議席！埼玉県で！

参議院で与野党逆転へ！

（7月29日参議院選挙）

総務省へ申し入れ！

（年金記録問題に関する選挙

向け対応は問題あり！）

## *Koichi Takemasa Information*

ブログ「今日のたけまさ」日々更新中！

たけまさ公一公式ホームページへお越しください

<http://www.takemasa.org>

携帯版のアドレスはこちらです

<http://www.takemasa.org/i>

皆様のご意見・ご要望をお待ちしています

[voice@takemasa.org](mailto:voice@takemasa.org)

**参議院議員選挙結果速報！**

候補者別得票数（埼玉県選挙区） 開票率 100%

(当)こうだ 邦子	7 4 5 , 5 1 7 票
(当)古川 としはる	6 8 4 , 2 7 0 票
(当)山根 りゅうじ	6 6 5 , 0 6 3 票
高野 ひろし	6 2 3 , 7 2 3 票
あやべ 澄子	2 7 7 , 4 4 0 票
まつざわ 悦子	1 0 4 , 4 0 3 票
沢田 哲夫	7 2 , 7 5 6 票

第 2 1 回参議院議員選挙の投開票が 7 月 2 9 日行われ、民主党は地方区と比例区をあわせて、合計 6 0 議席以上に。特に、埼玉県では行田邦子、山根隆治の 2 人が当選し、目標とする合計 1 4 0 万票を超え、「与野党逆転」が実現しました。投票率も 5 6 % を超えました。また、特に期日前投票では前回比較 1 . 5 倍の多さです。今回の争点は「年金」であり、「負担増」でありました。まずは、「消えた年金記録」対応の万全を、民主党案を提案しつつ政府に求めます。選挙期間中の申し入れでも明らかなように、政府与党の「選挙向け」対応であったからです。「負担増」については民主党のマニフェストで示した財源「支出見直しによる 1 5 兆 3 0 0 0 億円」を具体化するための法案の国会提出です。政府与党が秋から始める「税制論議」に対して「今は消費税引き上げるべきでない」とする論拠をより明らかにしたいからです。そして、現内閣は国民の皆さんから「不信任」を突きつけられたと考え、速やかなる内閣総辞職とともに衆議院の解散総選挙を求めてゆきます。また、8 月 9 日に始まり 8 月 26 日投開票の埼玉県知事選挙では上田知事を「友情支援」することを民主党埼玉県連として正式決定しておりますので、しっかりと対応してゆきます。

**投票時間繰上げは全体の 3 割（7 月 24 日）**

全国の投票所の 3 割で投票時間の繰上げが行われていることが、しかも、前回比 3 割増であることから、公職選挙法第 40 条「選挙人の投票に支障をきたさないと認められる特別な事情のある場合に限る」よう、都道府県、市町村への周知徹底を総務大臣に求めましたが、総務省からの回答は「市

町村選挙管理委員会が適切に対応している」という木で鼻をくくったもの。29日のニュースで「一部の地域を除き午後8時で開票は締め切られます」が、実は3割の投票所繰上げではとても「一部の地域」ではないと考えます。

## 消えた年金問題で数々の申し入れ！

7月3日の年金記録確認第三者委員会（以下、第三者委員会）に出向き、委員長宛「委員会の公開」など5項目の申し入れを行い、翌日には、事務局を尋ね、「社会保険庁の年金記録コンピューターに接続できない」ことを知り驚きました。同日、年金記録問題検証委員会（以下検証委員会）座長にも同様の申し入れ書を直接行い、5日には、党総務厚労合同会議で、社会保険庁は「統合まで何年かかるかはわからない」検証委員会には「消えた年金記録5000万件の受け取るべき年金総額」「今年になって領収書がなくて認められた記録件数」などの報告がないことも明らかに。10日にも合同部門会議を開催し、9日第三者委員会が示した「確からしさ」「人柄」「合理性」などの判断基準への懸念を質問。「社会保険庁で門前払いを受けた2万人も直接第三者委員会には行けない」「地方第三者委員会の事務局にも社会保険庁から出向する」ことが明らかに。終了後、9日付回答書で「議事次第」「委員会提出資料の一部」のみの公開だったので「部会」対応も含め再度の申し入れを行う。13日には地方第三者委員会についても公開対応を求める。18日には再度合同部門会議を開催し、17日の地方第三者委員会の受付（受理件数は全国で382件）について質疑。「申請件数を聞くも把握していない」「社会保険庁門前払いの20000人には案内なし」などの回答にはあきれ、以上が選挙向けに対応していると見えてなりません。

## 放送番組編集の自由で申し入れ（7月14日）

7月12日参議院選挙公示日に総務省が直接放送事業者を呼びつけて「選挙番組で当確を出すのに慎重に」と文書を直接渡したことは、監督官庁による「番組編集の自由」などへの圧力と申し入れ書を提出しました。17日の回答では、「過去候補者から苦情は受けていない」「過去文書は郵送のみ」などが明らかになりました。

## 新潟県中越沖地震発生（7月16日）

党本部に対策本部が立ち上がり、党県連でも同様に対策本部をつくり募金活動を始めました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、怪我をされた方々の1日も早いご回復と、復興を政府に求めてゆきます。

# 「ほーう！なるほど！」のサマーツアー 親子国会見学会



日時：8月8日（水）午前11時～午後2時

現地集合「衆議院第2議員会館」1階ロビー

国会議事堂を見学 議員会館内食堂でランチ  
紙芝居・クイズ大会（予定） 武正代議士と歓談など

会費・お1人800円（資料代+お食事代=名物特製国会カレー+保険代）

## 「朝食勉強会」

慶大大学院教授 金谷年展先生

日時：平成19年9月6日

7:30～8:00 朝食会

8:00～9:00 先生ご講演

場所：浦和ロイヤルパインズホテル

ロイヤルプリンセス4F

会費：10,000円

## 第68回 たけまさ公一と語る会 テーマ

「国会報告 与野党逆転!？」

日時：8月5日(日)14時～16時

会場：さいたま共済会館401号

浦和区岸町7-5-14

TEL 048-822-3330

参加費：無料

月1回、オープンミーティング形式で勉強会  
を行っています。ぜひお気軽にご参加下さい。

上記イベントについてのお問い合わせ、申し込みは・・・

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846

E-mail: [voice@takemasa.org](mailto:voice@takemasa.org) ...までお願いいたします。



## 衆議院議員たけまさ公一 プロフィール

.昭和36年(1961年)生まれ。さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。平成元年、松下政経塾卒業。平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選。平成17年9月、衆議院議員3期目当選。民主党 NC(=次の内閣)総務(大臣)担当。民主党埼玉県連幹事長。衆議院総務委員会筆頭理事。

## たけまさ公一事務所・所在地

埼玉事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2階 TEL:048-832-3810 FAX:048-832-3846

岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12 TEL:048-749-6801 FAX:048-749-6802

国会事務所 千代田区永田町2-1-2 第2議員会館312 TEL:03-3508-7062 FAX:03-3519-7715